

# 学力向上をめざして … 「3つの視点」

玉川中学校では、自ら課題を見つけ、探求し、人と協力して解決を目指す生徒の育成を目指し、3つの視点を大切にしながら、様々な取り組みをしています。家庭と学校がつながりながら子どもの学力向上を目指しています。



## 授業の組み立て



- ・学習課題の発見と解決に向けて、主体的・協同的に学ぶ授業づくりをしています。
- ・「学習課題」と「振り返り」の時間をしっかりと確保します。

## グループ活動の充実



- ・グループ活動を通して本時の「ねらい」にせまれるよう、課題や発問を工夫します。

## 授業の工夫

- ・一人ひとりの生徒が「つながって学ぶ授業」を工夫します。

## 発言しやすい環境づくり

- ・電子黒板やICT等を活用し、発表の仕方を工夫します。また、友だちの発言を受け入れる雰囲気のある学級集団づくりを目指します。



## 家庭学習の定着をはかる

- ・「学習のしおり」などを利用して、どのように学んだらよいかを示しています。
- ・ビブリオバトル、集会でのスピーチなどで、表現力や伝える力、発表力の育成につとめています。
- ・漢字検定(希望者)、GTEC(英語)を受検しています。

学びを実感できる授業づくり

「学び方」を育て子どものために一丸となって取り組む学校づくり

- ・授業で、家庭で取り組む課題を提示します。
- ・家庭で授業の予習・復習や定期テストの学習計画を立てて、生徒が自分のペースで学習を進めています。

学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

## 授業改善に向けた分析

- ・様々な調査やアンケートの結果を分析し、国、数、英を中心とした授業改善の取組をすすめます。

